

カスパーゼ-5

Cat. No. EXWM-4233

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 この酵素は、炎症性カスパーゼのファミリーの一部であり、ヒトではカスパーゼ-1 (EC 3.4.22.36) およびカスパーゼ-4 (EC 3.4.22.57) を含み、マウスではカスパーゼ-11 (EC 3.4.22.64)、カスパーゼ-12、カスパーゼ-13、およびカスパーゼ-14 を含みます。N末端の前ドメインにはカスパーゼリクルートメントドメイン (CARD) が含まれており、これはプロカスパーゼの活性化に関与しています。この酵素は自分自身とp30カスパーゼ-1前体を切断することができますが、プロ-IL-1 β から成熟したインターロイキン-1 β (IL-1 β) を生成するのは非常に非効率的です。この酵素とカスパーゼ-4の両方は、プロカスパーゼ-3を切断して小サブユニット (p12) を放出することができますが、大サブユニット (p17) は放出できません。カスパーゼ-4とは異なり、この酵素はリポポリサッカライドによって誘導されることがあります。ペプチダーゼファミリーC14に属します。

別名 ICErel-III; Ich-3; ICH-3プロテアーゼ; トランスクリプトY; TY; CASP-5

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 3.4.22.58

CAS登録番号 192465-11-5

反応 P1位置でのAspに作用する適切な要件があります。好ましい切断配列はTyr-Val-Ala-Asp+ですが、Asp-Glu-Val-Asp+でも切断します。

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。